

しなののうた

初めての甲子園球場に息をのむ
広いなあと声を発して



杉田小百合

しなののうた

寒き身の熱きに燃えて応援の一球ごとに手に汗にぎる

杉田小百合



しなののうた

球児らの闘志みなぎる甲子園

はちきれそうな笑顔が満ちる



杉田小百合

しなののうた

ランナーが塁に出るたび歓声はアルプス側をひと飲みにする

杉田小百合



しなののうた

一瞬に風は変わりてつむじ風
打球は野手を高く越えゆく

l.MI

杉田小百合